



仮想通貨スパーク（Spark/FLR）とは？特徴や今後の見通し・将来性を徹底解説

原文：

<https://www.btcc.com/ja-JP/academy/crypto-basics/what-is-the-virtual-currency-spark-flr-first-flr-listing-in-japan-from-bitbank>

仮想通貨取引所bitbank（ビットバンク）は2022年8月12日、Flare Networks（フレアネットワークス）の仮想通貨「スパーク（Spark/FLR）」の取扱いを近日中に開始することを発表しました。新たに仮想通貨FLRが上場することによって、bitbank（ビットバンク）で取引可能な仮想通貨は合計19銘柄となります。

ビットバンクは「フレア（FLR/旧スパーク）」の取り扱い予定も発表されており、現時点（2022年11月）では、上場待ちの状況となっています。

Flare Network（フレアネットワーク）とは、リップル（XRP）を開発する米Ripple社の投資部門Xpringが出資を行う有望プロジェクトです。独自のコンセンサスプロトコルに基づき、安全で分散化され、かつスケーリングが可能なスマートコントラクト・ネットワークを構築します。



今回この記事は、仮想通貨スパーク（Spark/FLR）とは何か、その特徴や今後の見通し・将来性などについて初心者でもわかりやすく解説していきます。

フレア（FLR）に興味を持つ方は、[BTCC公式サイト](#)をチェックしてみてください。

[口座開設&入金で最大17500USDTゲット!](#)
[BTCC口座開設はこちら](#)

目次

- [1. 仮想通貨フレア（FLR/旧スパーク）とは](#)
- [2. フレア（FLR/旧スパーク）の特徴](#)
- [3. フレア（FLR/旧スパーク）を取扱う取引所](#)
- [4. フレア（FLR/旧スパーク）今後の見通し・将来性](#)
- [5. フレア（FLR/旧スパーク）最新ニュース・関連情報](#)
- [6. フレア（FLR/旧スパーク）：まとめ](#)

仮想通貨フレア（FLR/旧スパーク）とは

まずは、仮想通貨フレア（FLR/旧スパーク）とは何かについて簡単に説明します。



仮想通貨フレア（**FLR**/旧スパーク）はフレアネットワーク（**Flare Networks**）上でガバナンス投票や[ステーキング](#)報酬として使用される仮想通貨となっています。

UXD(UXD Protocol)はソラナ（**Solana**）ブロックチェーン上で開発されました。

またステーブルコインとしてのUXD(UXD Protocol)は、「UXD Protocol」というDeFiプロトコルより開発・運営されています。

[リップル](#)の分散型台帳のXRPレジャーにスマートコントラクトを実装するためのプロジェクトであるFlare Networkの実現のために開発された仮想通貨スパーク（Spark/FLR）は、総発行枚数が1,000億FLR、開発者に250億FLR、財団に250億FLR、Airdropに500億FLRが割り当てられています。

リップル保有者を対象に仮想通貨スパーク（Spark/FLR）がエアドロップ（Airdrop）されるという発表をきっかけに、多くの人々に注目されるようになりました。

また、ライトコインはスパーク（Spark/FLR）と統合されると発表され、こちらでもAirdropが実施されます。

フレア（FLR）に期待されている方は、[BTCC公式サイト](#)をチェックしてみてください。

口座開設&入金で最大17500USDTゲット!

BTCC口座開設はこちら

フレア（FLR/旧スパーク）の特徴

フレア（FLR/旧スパーク）の特徴といえば、主に下記の2点です。

フレア（FLR/旧スパーク）の特徴

- 1.FBAコンセンサスプロトコルに使用している
- 2.イーサリアム仮想マシン（EVM）を活用

1.FBAコンセンサスプロトコルに使用している

スパーク（Spark/FLR）は、PoS（プルーフオブステーク）の代わりに、FBA（Federated Byzantine Agreement）というコンセンサスプロトコルに使用している。

FBAは、経済的仕組みに頼らず、かつスケーリングが可能なコンセンサスプロトコルであり、ビザンチン将軍問題として知られる、合意形成問題の障害を回避する仕組みの進化形です。

PoSは、ネイティブトークンのステーキングという形で、参加者の経済的インセンティブを利用し、ネットワークの安全性を確保します。そのため、信頼されるネットワークを維持しスケーリングしていくためには、トークンの価値が上昇する必要があります。ネットワークにロックされた価値よりも、格段に大きな時価総額を持つ資産をプラットフォームで保護することは、悪意ある攻撃の可能性を考慮すると賢明ではないでしょう。

また、ステーキングよりも高い利回りを得る他の手段がある場合、投資家はあえてステーキングを選択するでしょうか。資本がネットワークから流出し、セキュリティが低下することが危惧されます。

スパーク（Spark/FLR）はFBAを取り入れ、各ノードは「金融のインターネット」として、安全性を確保

しつと迅速なファイナリティと高スループット（処理能力）を実現したAvalancheプロトコルを、FBA設定の中で実行します。



2.イーサリアム仮想マシン（EVM）を活用

フレア（FLR/旧スパーク）を使用するFlare Network（フレアネットワーク）は、ブロックチェーン上で契約を自動的に実行する仕組みである「スマートコントラクト」にイーサリアム仮想マシン（EVM）を活用しています。前述したネットワーク基盤の特徴により、スマートコントラクトプラットフォームのスケールアップ問題を解消する新しい手法として注目されます。

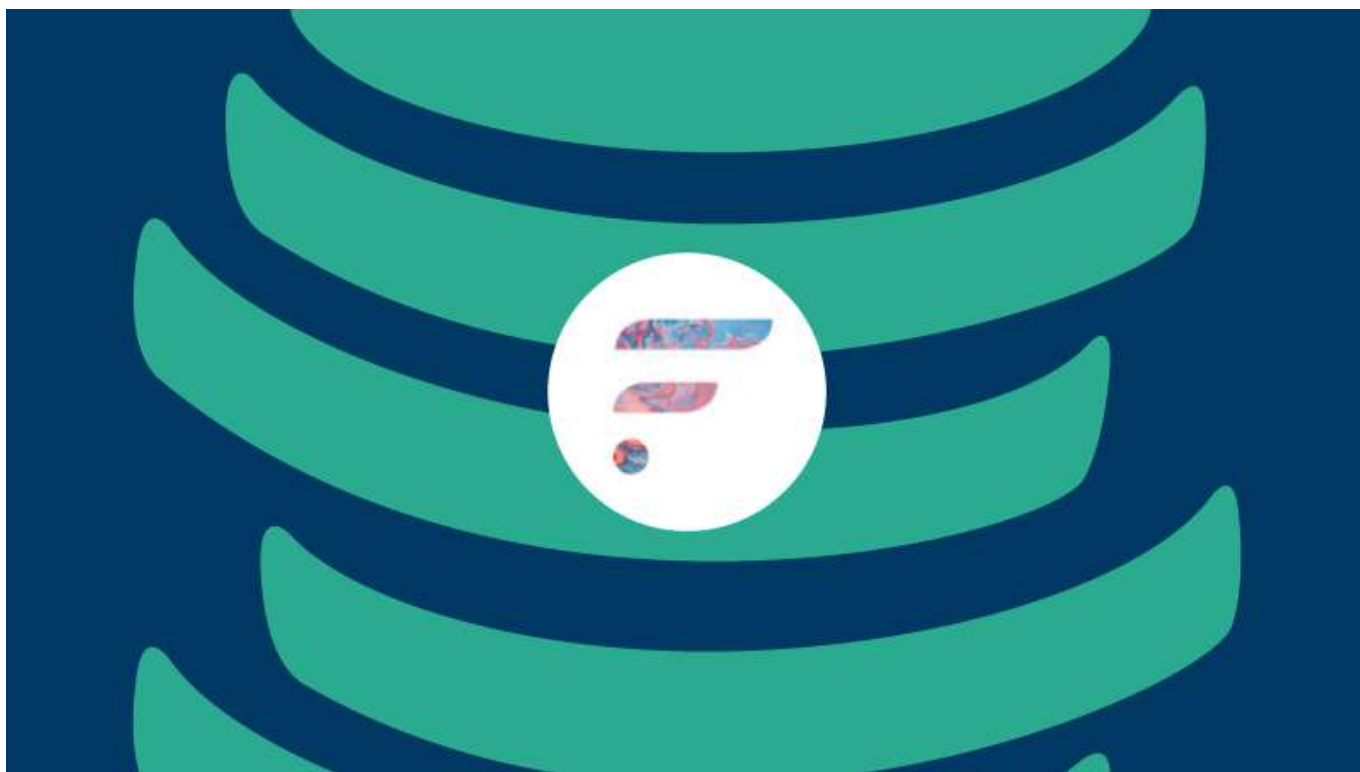
このプラットフォームを利用例として、Flare Network上のDeFiの構築を目指す、Flare Financeがあります。Flare公式とは関係性を保たない独立した匿名の内部メンバーから構成され、2月中旬にパブリックベータを開始しました。

フレア（FLR）を検討している方は、[BTCC公式サイト](#)をチェックしてみてください。

[口座開設&入金で最大17500USDTゲット!](#)

[BTCC口座開設はこちら](#)

フレア（FLR/旧スパーク）を取扱う取引所



続いて、スパーク（Spark/FLR）を取扱う取引所をチェックしましょう。

1.bitbank: 仮想通貨FLRはbitbankより国内初の上場へ

bitbank（ビットバンク）は12日に、FlareNetworks（フレアネットワークス）の仮想通貨である「スパーク（Spark/FLR）」の取扱いを近日中に開始することを発表しました。

フレアネットワークス（Flare Networks）とは、Ripple社の投資部門「Xpring」からの支援を受け、XRPレジャー上にスマートコントラクトを実装することを目指しているプロジェクトであり、スパーク（Spark/FLR）はFlare Networks上でガバナンス投票やステーキング報酬として使用される仮想通貨となっています。

FlareNetworksは2020年に「リップル(XRP)保有者に対するSpark（Spark/FLR）トークンのエアドロップ」を発表しており、bitbank（ビットバンク）を含む国内仮想通貨取引所からは『仮想通貨FLRの取扱いが日本仮想通貨取引業協会と金融庁に承認された場合にFLRの配布を実施する』との発表が行われていたため、仮想通貨FLRの上場承認には注目が集まっていましたが、今回の発表ではFLRが正式に上場する予定であることが報告されています。

具体的な取扱開始日程の詳細については『Flare Networks上での十分な安定稼働を確認した上で別途お知らせする』と説明されており、Sparkトークンを付与するエアドロップの時期についても『決定次第、別途お知らせする』と説明されています。

2.bitFlyer: 仮想通貨FLRを取扱開始と発表

国内仮想通貨取引所bitFlyer（ビットフライヤー）は2022年8月18日、仮想通貨FLR（旧Sparkトークン）の取り扱い開始を発表しました。bitFlyerでは仮想通貨FLRの付与を行う方針を改めて表明し、またスパーク（Spark/FLR）の付与完了後には上場も開始するとしています。

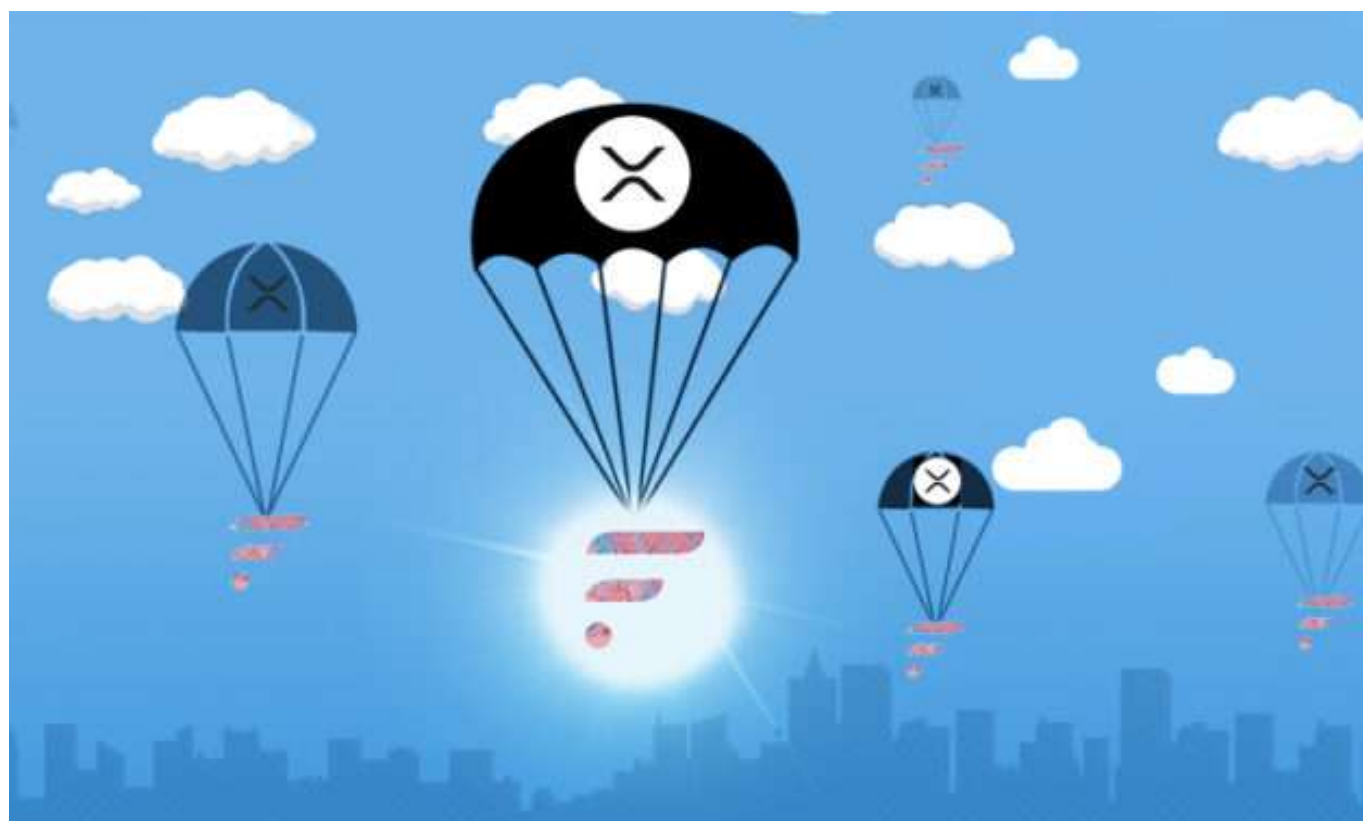
なお、FLRトークンの付与日時は未定。FLRトークンの取り扱い開始も同様に未定のままです。

トークン付与（エアドロップ）対象者は2020年12月9日のスナップショット時点で仮想通貨リップル（XRP）をbitFlyerアカウントで保有していたユーザーのみです。

フレア（FLR）に期待されている方は、[BTCC公式サイト](#)をチェックしてみてください。

[口座開設&入金で最大17500USDTゲット!](#)
[BTCC口座開設はこちら](#)

フレア（FLR/旧スパーク）今後の見通し・将来性



スパーク（Spark/FLR）は、初のユーティリティフォークとなる可能性があり、オリジンネットワーク

(XRP Ledger) はユーティリティの向上によって利益を得ることができます。

仮想通貨スパーク (Spark/FLR) の保有者は、Flare上に構築されたプロトコル「FXRP」の信頼性の高い発行・償還を担保にスパーク (Spark/FLR) トークンをコミットすることで、また、Flareの時系列オラクルにデータを提供することで、仮想通貨スパーク (Spark/FLR) のリターンを得ることが可能です。これらの機能は互いに競合するものではないです。

現在、全体の75%にあたる仮想通貨が「非チューリング完全ブロックチェーン」上に構築されているとフレア (Flare) は指摘しています。ビットコインやライトコインなどがその一例だが、これらのチェーンではスマートコントラクトを実行できないです。

SDAのアプリケーションの一つとして想定されているのが、非チューリング完全資産にスマートコントラクトを実装する架け橋としての役割です。FXRPはその先駆けとなるとともに、他の資産にも応用する可能性を示すことになると考えられています。

2022年2月26日、XLMがFlareをF-Asset (トークン) として扱うと発表しました。XLMに対して新しくFlare Network (フレアネットワーク) 上でFXLMを発行するということで、Flare Financeでも同様にF-Assetとして取り扱われているXRP、LTC、DOGEとともにサービスを利用できます。

さらに、Flare Network (フレアネットワーク) 上でトラストレスに発行された資産は、CosmosやPolkadotのような相互運用プロトコルを介して、他のネットワークへ拡散する可能性があるというホワイトペーパーでは指摘されています。

フレア (FLR) に期待されている方は、[BTCC公式サイト](#)をチェックしてみてください。

口座開設&入金で最大17500USDTゲット!

[BTCC口座開設はこちら](#)

フレア (FLR/旧スパーク) 最新ニュース・関連情報

続いて、フレア (FLR/旧スパーク) の最新ニュース・関連情報をお伝えします。

▪ フレア（FLR）のエアドロップが2023年1月9日に実施

フレアネットワーク（Flare Networks）は2022年12月1日、フレア（FLR）のエアドロップの開始日を2023年1月9日とし、開始後2週間以内にFLRトークンを発行する仮想通貨取引所のリストを公表しました。

フレアネットワーク（FLR）は、仮想通貨取引所と積極的に連携しており、FLRスナップショットに参加するためには、エアドロップに対応した取引所、またはエアドロップに対応したウォレットで保有する必要があります。

フレアネットワークによると、2023年1月9日から2週間以内に仮想通貨FLRを顧客に配布することに合意した主要取引所はバイナンスや、クリプトドットコム、クラーク（Kraken）、OKX、Bitfinex、Bitrue、BitStamp、Bithumb、Okcoinなど25社です。

詳細については、[「仮想通貨フレア（FLR）のエアドロップが間もなく実施へ」](#)という記事をご覧ください。

フレア（FLR）を検討している方は、[BTCC公式サイト](#)をチェックしてみてください。

[口座開設&入金で最大17500USDTゲット!](#)
[BTCC口座開設はこちら](#)

フレア（FLR/旧スパーク）：まとめ

今回は、仮想通貨スパーク（Spark/FLR）の概要や特徴、取扱う取引所、今後の見通し・将来性などを解説してきました。

仮想通貨スパーク（Spark/FLR）やほかの仮想通貨銘柄に関してもっと知りたい方は、[BTCCのホームページ](#)をご参考ください。

[BTCC公式サイト](#)

BTCC取引所は、イギリスに設立された暗号資産デリバティブ取引所です。「信頼ができる暗号資産取引を誰もが簡単に利用できる」ことをモットーに、11年以上サービスを提供しています。ロンドンに本部を置くBTCCは現在日本での登録者数が徐々に増加しており、またSNSを通じて日本限定のキャンペーンも度々開催されています。

【あわせて読みたい】

[ディープコイン（DEP）とは？今後の将来性や価格推移を徹底解説](#)

[仮想通貨シンボル（XYM）とは？将来性や今後の価格予想を解説](#)

[【仮想通貨】ASTAR\(アスター/ASTR\)とは？特徴や今後の見通し・将来性を徹底解説](#)

[仮想通貨取引所おすすめ比較ランキング！口座開設方法や選び方を解説](#)

[仮想通貨・ビットコインは今後どうなる？将来性や暴落予想を徹底解説【2022年最新】](#)

[Oasys（オアシス/OAS）とは？特徴や買い方・将来性を徹底解説](#)

[Aptos（アプトス/APT）とは？特徴や今後の見通しを解説](#)

[仮想通貨Serum（セラム/SRM）とは？特徴や買い方を徹底解説](#)

[Pi Network（パイネットワーク）とは？仕組みや特徴、マイニングを解説](#)

[柴犬コイン（SHIBA INU/SHIB）とは？特徴や買い方・将来性を解説](#)